

令和7年度第2回経営アドバイザー会議議事録

| | |
|--------------|---|
| 開催日時 | 令和8年3月4日(水) 午後3時から4時15分まで |
| 開催場所 | 千葉県立房総のむら 館長室 |
| 出席者内訳 | <p>豊田佳伸 委員 柏木恭子 委員 秋山笑子 委員 山田篤 委員 寺島光浩 委員</p> <p>房総のむら：西原館長・鎌形副館長兼事業課長 安藤管理課長・長谷川広報普及グループ長</p> <p>千葉県教育振興財団：三浦企画課長</p> |
| 議 事 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度下半期事業について ・令和8年度事業計画について ・運営についての意見交換 ・その他 |
| 質問、意見 要望等 | <ol style="list-style-type: none"> ① 当日体験をされた方に声掛けをするなど予約体験につながるような工夫が必要ではないか。 ② お客様が選びやすいように、お勧めの体験を絞って案内すると良い。 ③ 体験の予約の仕方をもっと広報をすると良い。 ④ 出生率が下がって小学生の人数も減っており、小学生の団体入館者を増やすのは難しいと思うが、小学生の団体受入は房総のむらの重要な事業であるので今後も頑張してほしい。 ⑤ 枯れ木等の伐採については、入館者に危険が生じないように積極的に進めてほしい。 ⑥ 農村歌舞伎舞台などの経年劣化が進んだ施設については、設備の改修等をおこなってほしい。 ⑦ まつりや展示の準備運営については、職員がチームを組んで協力してやっていく組織づくりが必要である。 ⑧ 房総のむらへ何度も足を運んでくれるリピーターを増やすためには、会員制度を作って活用するとよい。スタンプカードも有効だと思われる。 ⑨ 来年実施予定の千葉県芸術祭では、多くのお客様に来ていただき新しい需要を生みだすきっかけになるよう、房総のむらの良さを発信してほしい。 ⑩ 実際に房総のむらへ行き、自分の目で見て、ものに触れる体験は小学生にとってとても大切なことである。 ⑪ 子どもたちに古墳を見てみたいと思わせるような広報を考えて欲しい。 ⑫ 房総のむらの職員が昔の暮らしなどのキットを持参して小学校を訪問し、展示を行ない説明をすることは、博物館への来館のきっかけ作りになるのではないか。 ⑬ 来年の展示で「江戸時代の庶民の楽しみ-旅と娯楽-」が計画されているが、千葉県の地元の人にスポットを当てたコーナーを作ると、リアリティがある展示になると思う。 ⑭ 夏休みや繁忙期には臨時バスがあると子どもたちや外国人の方が来館しやすい。 |

| | |
|---|---|
| <p>むらからの 回答 ※番号は、 「質問・意見・ 要望等」の 番号に应答</p> | <p>①～③ お勧めの体験をピックアップしてチラシを作るなど利用者や体験者の増につなげていきます。</p> <p>④ 社会教育施設であり、子どもたちの教育の場として対応していけるよう努力します。</p> <p>⑤ 枯れ木については自主点検を行い、危険と思われる個所の伐採はおおむね終了しました。現在は、県が専門家に依頼し伐採を進めているところです。</p> <p>⑥ 老朽化の進んだ施設の改修は県と協力して施設の維持管理に努め、皆様に喜んでいただけるような事業の継続に努めます。</p> <p>⑦ 職員がチームを組んで協力しあって業務に取り組めるよう、体制の整備に努めます。</p> <p>⑧ 会員制度はありませんが、メルマガやラインに登録していただいて情報を発信しております。</p> <p>⑨ 千葉県芸術祭を房総のむらを知っていただくきっかけとし、来館者の増につながるような取り組みをしてまいります。</p> <p>⑩ 小学校では暑い時期を避けて、年が明けてから多くの団体が来ていただきました。</p> <p>⑪ 子どもたちの学習に役立つような取り組みを進めてまいります。</p> <p>⑫ 学習キットの貸出など、学校でも学べる取組について広報活動を進めてまいります。</p> <p>⑬ 興味を持ってご覧いただけるような展示になるよう工夫してまいります。</p> <p>⑭ 土日・祝日にはバスが路線を延長して房総のむらへ乗り入れます。来館しやすくなるよう今後も関係機関と検討してまいります。</p> |
|---|---|